食に関する指導の目標

飲食活動が健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性をはぐくんでいるように、文部科学省では、次のような目標を設定しています。

- 食事の重要性
  食事の栄養・穏食摂取
  食事の重要性、食事の収穫、楽しみを理解する

- 心身の健康
  心身のバランス・食事の準備
  心身の成長や健康の保持増進の上で、授業の食事の効率化を理解し、心身の健康を身に付ける

- 食品を選択する能力
  安全や衛生・食品の品質
  正しい知識、情報に基づいて、食品の品質ソリタリーを自ら判断できる能力を身に付ける

- 感謝の心
  命を受け継ぐこと・あいさつ・自然への感謝
  食事を大事にして、食物の生産にかかわる人々への感謝する心をもつ

- 社会性
  食事のマナー・環境に配した食生活
  食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける

- 食文化
  郷土理解・日本の食文化理解・国際理解
  各地域の料理、文化や食事にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ

「食」は「生きる力」の基盤

～学校教育活動全体で食育を進めよう～

学校における食育を推進して、児童生徒が「食に関する正しい知識」と「望ましい食行動」を身に付けることが、できるようにしましょう。

学校が家庭や地域との連携、協力しながら食育を推進する。

関連する学習指導要領において「食に関する指導」を充実すること

教科等
学習指導要領では、食育を含む全教科の目標を踏まえた学習から、食に関する内容や教材が求められています。

地域との連携
地域の教育活動、地域活動、地域活動等を通じて、地域の食育の取り組みを促進いたします。

学校給食・お弁当
学校給食、お弁当については、地域の食文化や地域の食生活を考慮し、地域の食育を推進します。

学校行事
学校行事においても、食育を活用した行事が行われるように、地域の食育活動の推進を図ります。